

予算特別委員会資料

(地域公共交通関係)

庁舎・交通体系対策室

平成28年3月

交通体系見直しに係る整備の方向性について

【地域公共交通に関する構想策定】 ※平成28年度当初予算計上(4,968千円)

1 地域公共交通網形成計画の策定

公共交通のマスタープランとして事業の位置付けを明確にし、事業実施の根拠として活用できるとともに、関係機関との協議、意見交換、合意のもとに計画を策定することから、行政と民間の歩調を合わせた計画を立案、関係者間の連携強化を図る。また、当該計画に定める事業の実施に対する支援として、交通マップや時刻表等の作成(ソフト事業)に対する補助金の活用が可能となる。

● 計画策定内容の概要

- ・平成25年度に実施したアンケート調査等を参考に現状分析、課題の整理及び本市の策定している各種計画等の整合性を確認したうえで、課題への対応策等の検討、報告書の作成を実施する。

【短期戦略：既存交通体系を基本とした維持・改善】

1 市バス・福祉バスの維持・改善

現行の市バス・福祉バス事業に対する公共交通利用者の多種多様な要望に対し、簡易な運行計画の変更について、事業担当課において随時維持・改善を図って行きながら、可能な限り利便性の向上を図る。

【中期戦略：平成30年度から事業実施を目標とした施策】

『交通空白地の解消』

1 桂川駅便の見直し

稲築地区から桂川駅に向かう公共交通が整備されていない現状から、県道豆田線を主要な運行道路とした往復型路線の構築を図る。また、既存の市バスにおける桂川線(山田地区～桂川駅)の運行頻度及び運行ダイヤの見直しを図る。

2 各高校及び福岡市内直行便の構築

飯塚市に設置される高等学校への通学対策及び福岡市への通学・通勤等の移動手段として、直行便の構築を検討。

1 循環バス路線の構築及び福祉バスを含む交通体系の総合的な見直し

新庁舎及び新支所の供用開始にあわせて、現行の市バス・福祉バスの運行形態、運行計画等について「0」から見直しを図り、効率的で効果的な地域公共交通体系の整備を行う。

2 ICカードシステムの導入

西鉄が運用している「nimoca」が利用できる機器を市バス車両に設置し、西鉄バスと市バスの乗り継ぎに係る運賃割引制度等の導入やその他各種運賃割引を実施に係る円滑な運用及びバス利用者の利便性の向上について検討。

3 高齢者助成制度の導入

福祉バス廃止に伴う市バス運行への移行に対し、唯一の移動手段である公共交通サービス水準の低下抑制を図るため、高齢者向け福祉サービスと位置づけ、高齢者運賃助成制度の導入を検討。

※ 交通体系の整備以外の別途検討施策

《利用促進・定住化戦略：早期の実施を目標とした施策》

● 通学助成制度の導入

高校生の通学に際し、バス利用に伴う負担軽減を図るため、定期券等による定期的なバス利用者に対する運賃助成により、住民サービスの向上と高校進学に伴う市外転出の抑制を図ることを目的に検討。

- ・ 通学対策として、各高等学校までの直行便構築とあわせて、実現可能性や事業費及び効果等について検討。

【嘉麻市在住高校生生徒数 945人（教育委員会資料参照 H26.4 現在）】

● 交通体系見直し事業に関するスケジュール

項目	平成28年度				平成29年度				平成30年度以降	備考
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月		
構 想	平成25年度作成の地域公共交通総合連携計画(案)を活用し、現行法の規定に基づく内容を追加しながら網形成計画を策定									平成28年度当初予算に計上 【平成28年度構想策定】
短 期 戦 略	利用者の要望等に応じ、可能なものについては随時担当課において対応する。									実施可能なものについては随時担当課において対応
中 期 戦 略	中・長期戦略に位置づける各事業の実施に係る課題・問題点の整理及び実施可能性の調査				【運行の実現性の見通しが立った場合】 ・具体的な運行計画の協議 ・例規整備及び予算の確保				平成30年4月運行開始を目標	市民の意向を確認しながら詳細について検討 【中期戦略:平成30年度実施目標施策】 【長期戦略:平成32年度実施目標施策】 ↓ 平成32年度新庁舎供用開始予定
長 期 戦 略					現状分析、課題抽出、素案作成 (平成32年4月運行開始目標)					
					福祉バス廃止後の代替策の検討 (平成32年4月運行開始目標)					
					ICシステム導入に係る調査 (平成32年4月運行開始目標)					
					運賃の助成制度導入に関する検討 (平成32年4月運行開始目標)					

● 交通体系の整備以外の事業に関するスケジュール

項目	平成28年度				平成29年度				平成30年度以降	備考
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月		
定 住 化 促 進 策 ・ 通 学 助 成 制 度 の 導 入	他自治体の事例研究 ・制度設計、運用方法の整備 ・対象者数の算出 ・事業費の算定等 ・関係事業者との調整				実現可能性の検討					庁舎内部の検討組織にて詳細を整理 【早期実施目標施策】

地域公共交通関係に係る経過

- 合併時～平成 24 年度 議会等から、市バス・福祉バスの整理統合、路線改変等について意見が出され、バス停の位置や軽微な路線の変更など対応可能な改正等を行ってきた経過はあるが、運行形態の統一などの根幹的な事項については、民間事業者との競合等の関係もあり進展していなかった
- 平成 25 年 4 月 1 日 総合検討組織として庁内に「庁舎・交通体系対策室」設置
- 平成 25 年 7 月 29 日 嘉麻市地域公共交通協議会設置
協議会においては、地域公共交通連計画に及び生活交通ネットワーク計画作成・変更等に関する事項を協議・検討し、計 3 回を開催
- 平成 25 年 8 月 7 日 嘉麻市地域公共交通総合連携計画策定に着手
当該計画策定に関し、平成 26 年 4 月 2 日までを契約期間とする業務委託を「日本工営(株)福岡支店」と締結

【嘉麻市地域公共交通総合連携計画策定における各種調査の概要】

- ・市民アンケート：6,000 人対象（回収率 40.1%）
- ・高校生アンケート：嘉麻市、飯塚市、桂川町に所在する高等学校通学者に対する調査（回収率 80.3%）
- ・各種団体アンケート：嘉麻市内の各種団体（行政区長会・民生委員会）への聞き取り調査
- ・バス利用者アンケート：市バス・福祉バス利用者に対する調査
- ・バス乗込み調査：市バス福祉バスに乗込み運行上の課題・問題点の抽出
- ・事業者ヒアリング：西鉄バス及び嘉麻市内バス事業者に対する聞き取り調査

- 平成 27 年 2 月 16 日 嘉麻市交通体系庁内検討委員会設置
 - ・ 第 1 回庁内検討委員会（平成 27 年 2 月 16 日） 設置目的、これまでの経過、地域公共交通に対する各課の考え方の確認等
 - ・ 第 2 回庁内検討委員会（平成 27 年 5 月 25 日） 各課からの意見提出、今後のスケジュール等
 - ・ 第 3 回庁内検討委員会（平成 27 年 11 月 13 日） 交通体系政策に関する方向性の提示等
 - ・ 第 4 回庁内検討委員会（平成 27 年 11 月 26 日） 総務財政委員会に提示する資料の確認、新年度予算に関する協議等
 - ・ 第 5 回庁内検討委員会（平成 28 年 1 月 20 日） 他自治体の取り組み状況、交通体系の見直し整備の方向性及び課題等
 - ・ 第 6 回庁内検討委員会（平成 28 年 2 月 10 日） 交通体系の見直しに係る方向性の確認等

- 平成 27 年 12 月 9 日 総務財政委員会に「交通体系に関する検討等の状況について」を報告

- 平成 28 年 2 月 9 日 行政区長連合会代表者会に対し、総務財政委員会で報告した「交通体系に関する検討等の状況について」を提示し概要を説明

- 平成 28 年 2 月 16 日 嘉麻市地域公共交通会議において、総務財政委員会で報告した「交通体系に関する検討等の状況について」を提示し、交通体系の整備の方向性を説明するとともに、具体的な整備を進めていく段階において協議検討に係る協力依頼を行う

- 平成 28 年 2 月 25 日 地域公共交通網形成計画策定業務に係る予算を計上